

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助・その他補助	開始時期	平成31年4月1日	終期	令和4年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	公益財団法人新潟市海洋河川文化財団運営費補助金 本財団事務局のPersonnel費を含めた管理的経費を対象に補助する。						
款・項・目	総務費 総務管理費 文化振興費						
所属等	文化スポーツ部 文化政策課 管理チーム 電話025-226-2560						

年度		令和元年度（1年目）	令和2年度（2年目）	令和3年度（3年目）
予算額等の推移	予算(千円)	16,183	27,212	28,815
	決算(千円)	15,196	25,866	28,815
補助率	10/10		10/10	
目標	新潟市を中心とする海洋・河川文化（海、河川をはじめとする水辺環境とそこに生息する生物などの影響を受けて発展してきた、人々の暮らし、生活様式、価値観等）の現況把握、歴史的背景及び保護継承を通して、社会における海洋・河川文化の重要性・関係性を啓発し、もって新潟の文化醸成に寄与するとともに、地域社会の持続的発展に寄与することを目的とする。 <目標が数値でない場合の評価方法> 海洋・河川文化の普及・啓発を行い、市の文化醸成と地域発展に寄与しているかにより評価する。			
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上			
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	普及啓発活動や、調査研究活動を年間を通して多数行っており、海洋・河川文化の普及啓発を通して、市の文化醸成と地域発展に寄与していると評価できる。	新型コロナウイルス感染症による影響はあったものの、可能な範囲で普及啓発活動を開催したり、研究や会議などに参加するなどしており、海洋・河川文化の普及啓発を通して、市の文化醸成と地域発展に寄与していると評価できる。	
補助事業者による情報の公表	ホームページ等			

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> b: 当財団は海洋・河川文化の普及啓発を通して市の文化醸成と地域発展に貢献するため、新潟市が100%出資した法人であり、必要な管理的経費を確保するため1/2以上の補助はやむを得ないと考える。 <g～hにおける取組> g: 海洋・河川の普及・啓発は、その性質上入館者数や収益のみでは測れない側面があり、目標を数値化することは困難であると考え。			
	目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
	① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止 ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 海洋・河川文化の普及啓発を通して文化醸成と地域発展に貢献し大いに寄与しているため必要であると考え。今後も経費の適正化について検討していく。				